



発行 厚木市青少年指導員  
連絡協議会  
編集 広報部会  
厚木市中町1-1-3  
TEL 225-2580

# ジュニアリーダー活動紹介

■ジュニアリーダーズクラブ  
相談役としての活動紹介 ■  
陸合南地区 福岡 典秋  
相談役として以上のような活  
動を通じ、ジュニアリーダーの  
地区活動が円滑に進められるよ  
うに努めています。

陸合東中学校区は、こども会  
の相談役と相互協力で活動して  
います。  
■ジュニアリーダーとともに ■  
緑ヶ丘地区 長谷川 吉昭

①月一回の地区会の参加  
進行の助言をしています。  
②地元地区との連絡役  
こども会、育成会、自治会、  
地域こども教室などからジュニ  
アリーダーへ寄せられた要請に  
対応するための窓口となっています。

③市主催のジュニアリーダー  
研修会の参加  
研修会を通じてメンバーとの  
親睦を図っています。  
④ジュニアリーダー活動計画  
作成  
年度初めに年間計画を作成し  
ます。

⑤お金の管理  
入会金の取りまとめと、バザ  
ーや公民館まわりの収益金など  
を頂いたときは保管し、ジュニ  
アリーダー卒業会の費用に充当  
します。

⑥地区行事の協力  
青少年育成活動事業交付金の  
申請や結果報告をしています。

年間を通して、ジュニアリー  
ダーはいろいろな行事に参加し  
ています。  
その一つとして、毎年秋空の  
下で行われる三世代イモ掘大会  
を紹介します。

農家のイモ畑を借り受けて親  
子三世代(三〇〇人)が参加  
し、楽しく仲良くイモを掘り起  
こす行事であり、掘り起こした  
イモは各自持ち帰り、家庭の食  
卓を飾ったことでしょう。

ジュニアリーダーと林中学校  
の生徒達は、その手伝いとして  
朝早くから会場の準備、イモの  
つるのかたづけ、イモを掘り起  
こしやすいように畑の地なら  
し、三世代の輪の中に入り、重  
量当てクイズの検量と記録、食  
事の合間にゲーム、賞品の受け  
渡し、放送の案内などを楽しく  
最後まで参加してくれました。  
ジュニアリーダーの会合には  
相談役もできる限り参加したい  
と思っています。

## 楽しく作って

### 親子で遊ぼう

■第十三回少女フェスティ  
バルを振り返って ■  
フェスティバルを振り返って ■  
団体育成部会部会長  
中島 伸一

第十三回少女フェスティ  
バルは、平成二十二年五月二十  
三日(日)雨のためヤングコ  
ミュニティセンター五階・六階  
で行なわれました。前日のお風  
に、明日は雨模様なので会場を  
厚木中央公園からヤングコミュ  
ニティセンターに変更の連絡が  
入り、準備にかかる労力がかな  
り削減されました。

少年少女フェスティバルは各  
地区工夫を凝らし、ボール紙を  
使ったブーメランや竹を使った  
竹笛・竹とんぼ、プラスチック  
板を使ったプラとんぼ、万華鏡  
など十七種類のおもちゃや工  
品を作り、親子で楽しんでもら  
えたと思います。

今年各地区のジュニアリー  
ダーの参加者も多く、雨の中、  
着ぐるみを着てパンフレット配  
りをして頂き大変感謝しており  
ます。  
また、青少年課をはじめ、



三世代イモ掘大会の様子

■地域は子どものために、  
子どもは地域のために ■  
厚木北地区 早川 宏一

厚木中学校区ジュニアリー  
ダーズクラブは、厚木北・南地  
区が活動の舞台です。その中で  
南北地区の青少年指導員事業は  
もとより、地区の育成会や子ど  
も会、体育振興会など地区団体  
事業への参加をしています。  
特筆すべきは、留守家庭の児  
童を預かる児童クラブでのイベ  
ントです。中学生のジュニア  
リーダーが中心となり、四時間  
にも渡る長丁場を企画から運営  
まで自分達の力で実行していま  
す。本人達の経験値が上がるだ

けではなく、児童クラブ学童に  
とつても、お姉さん達(ジュニ  
アリーダーの大半が女子生徒で  
す。)との触れ合いは代えがた  
い経験となっています。  
その他にも厚木北地区での湘  
南サイクリングやミニ駅伝、厚  
木南地区での三世代交流イベン  
トやサマーキャンプ等、表に裏  
に活躍しており、ジュニアリー  
ダー達無くしてはイベントが成  
立しない状況となっています。  
青少年指導員はジュニアリー  
ダーが活動しやすい環境を作  
り、安心して活動できるようにサ  
ポートをしています。

今年のはじめはとにかく暑い。猛  
暑、酷暑、炎暑、酷暑と酷暑の今  
も暑さで持ちきりの日本は、この  
まま温帯から亜熱帯になってしま  
うのか。  
こんな年は暑さというらしい。  
日本語には、暑さだけでなく、雨  
や風にも微妙な表現がある。五月  
雨、時雨、豪雨、微風、熱風、東  
風...。四季を織りなすからこそ  
生まれた言葉が美しい。  
「ふつっ」「やばい」と一言  
で片付けてしまふ表現はいかがか  
と思いつつ、書き手の気持ちを汲  
み、正しく読みとる難しさを感じ  
る。伝えなければいけないこと  
と、伝えたいことがこの紙面に表  
れていればと思います。(S・T)

## 編集後記

■青少年指導員の皆様へのお願い ■  
厚木市ジュニアリーダーズクラ  
ブ連絡協議会会長 吉田 寛子  
厚木市ジュニアリーダーは「大  
人と子どものパイプ役」として  
地域行事や市の行事のお手伝い  
をしています。  
さらに、ジュニアリーダーの  
資質の向上を狙いとした研修会  
等を行い活動がより良いものに  
なるよう努力・工夫をしていま  
す。  
そんなジュニアリーダーの活  
動の中で青少年指導員の方に助  
けられる場面は多くあります

## 関係団体の出し物

- ☆クラフト こま マスコット (ボーイ・ガールスカウト)
- ☆缶バッチ (ジュニアリーダーズクラブ)
- ☆折り紙・ストローで作るシュシュ (母親クラブ)

## 各地区の出し物

- ☆コリントゲーム (厚木北地区)
- ☆空気砲・シュシュ (厚木南地区)
- ☆紙フーメラン (依知北地区)
- ☆まんげきょう (依知南地区)
- ☆かざぐるま (陸合北地区)
- ☆竹ぶえ (陸合南・陸合西地区)
- ☆フーフー笛 (荻野地区)
- ☆ごりごりフロペラ (小粘地区)
- ☆フラトンボ (玉川地区)
- ☆スーパー竹とんぼ (森の里地区)
- ☆しおり (南毛利地区)
- ☆平成の水てっぽう (相川地区)
- ☆ジェット機 (緑ヶ丘地区)
- ☆民芸風一輪さし (南毛利南地区)

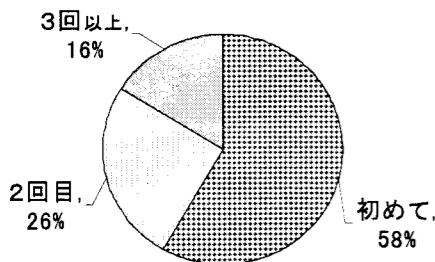
## ■ジュニアリーダー(若い力)の育成

厚木市青少年指導員連絡協議会会長 堀田 哲郎

早いもので、二十二年度も半  
分が過ぎました。共に活動して  
いた各団体様、皆様、お疲れさ  
まで、厚く御礼申し上げます。

我々の重点活動の一つに  
「ジュニアリーダーの育成」が  
あります。若い力が健やかに育  
ち、元気な厚木が形成されるよ  
う、ジュニアリーダー一人ひと  
りに心配りをし、彼らを信じて  
なすべく任せてみることも大切  
です。

今後、ジュニアリーダーの各  
種研修の中で、事業の計画を立  
てる研修も必要になると思いま  
す。ジュニアリーダーがお手伝  
いをお願いします。



少年少女フェスティバルへの参加は何回目？

### 雨でも楽しい少年少女フェスティバル

■「リントゲーム」  
厚木北地区 毛利 重夫

いなと思える一日でした。

厚木北地区では、昨年に引き続き『リントゲーム』を作りました。板に絵を描き、釘を打ち、輪ゴムの力でビー玉を飛ばして、傾斜している板の上を釘に当たりながら転がり降りてくる様子を楽しむというものです。ゲームをいかに作り上げるかという技術力やビー玉がどの様な動きをするかという想像力を必要とする奥の深い工作です。

「おかあさんじゃうすにできましたよ、すこいでしょ。」  
それでも心配そうに、「でも、うまく回るかな。」  
「おうちに帰ってお父さんにも作り方教えてあげようね、きつとびっくりするね、お父さんよじょうすだと思つよ。」  
少年少女フェスティバルに参加された親子の会話です。かざるまの作り方を教えながら親子の会話を聞いていたうちに、こういう親子関係であれば子どもはのびのびと育つのだろかな、相手の気持ちを思いやる心が育まれるだろうな。お父さんはどのような方か会ってみたい気がします。

今年も昨年と同様、雨のためヤングコミュニケーションセンターが会場となりました。私達は、睦合南地区と睦合西地区と合同で、竹笛を作りました。二本の細い竹をカッターナイフや接着剤を使って作っていきます。  
当日、ちゃんと音が出る竹笛を作れるかどうかが一番心配でした。子ども達と一緒に作っている中で、竹笛からやさしい「ぼーっ」と音が出た瞬間、子ども達の顔が笑顔に変わるのがとてもうれしかったです。普段使った慣れない大型のカッターナイフを使用したにもかかわらず誰もがをしなかつたのも良かったです。  
完成した竹笛にひもをつけ肩にぶらさげて、うれしそうに「ありがとうございます」と子ども達に言われた時は、よし来年ももっとみんなを楽しませたいと思います。

■初めて少年少女フェスティバルに参加して  
睦合西地区 伊藤 豊  
今年も昨年と同様、雨のためヤングコミュニケーションセンターが会場となりました。私達は、睦合南地区と睦合西地区と合同で、竹笛を作りました。二本の細い竹をカッターナイフや接着剤を使って作っていきます。  
当日、ちゃんと音が出る竹笛を作れるかどうかが一番心配でした。子ども達と一緒に作っている中で、竹笛からやさしい「ぼーっ」と音が出た瞬間、子ども達の顔が笑顔に変わるのがとてもうれしかったです。普段使った慣れない大型のカッターナイフを使用したにもかかわらず誰もがをしなかつたのも良かったです。  
完成した竹笛にひもをつけ肩にぶらさげて、うれしそうに「ありがとうございます」と子ども達に言われた時は、よし来年ももっとみんなを楽しませたいと思います。

■フェスティバルに参加して  
小島地区 長尾 詩織  
新任青少年指導員として初めて少年少女フェスティバルに参加、我が小島地区の出し物は『こりこりプロペラ』でした。  
新任だから当然作るのも初めて。子ども達が来場する前に工作方法を教わりましたがプロペラの回転に勢いを感じられず。待ったなしの子ども達の来場。一抹の不安を感じながら子ども達と一緒に作っているうちに、ブンブン回るプロペラ工作のコツがつかめてきました。  
夢中になって針金を巻いたり、ハサミでプロペラ形状を切り込んだり、こりこりプロペラを回す子ども達の真剣な眼差しを見てみると、将来どんな大人になるのかなと想像するのも楽しかったです。  
最後に、休む時間もなくお手伝いしてくれたジュニアリーダーの皆さん、ありがとうございます。



ただいまこりこりプロペラ作成中

今年も昨年と同様、雨のためヤングコミュニケーションセンターが会場となりました。私達は、睦合南地区と睦合西地区と合同で、竹笛を作りました。二本の細い竹をカッターナイフや接着剤を使って作っていきます。  
当日、ちゃんと音が出る竹笛を作れるかどうかが一番心配でした。子ども達と一緒に作っている中で、竹笛からやさしい「ぼーっ」と音が出た瞬間、子ども達の顔が笑顔に変わるのがとてもうれしかったです。普段使った慣れない大型のカッターナイフを使用したにもかかわらず誰もがをしなかつたのも良かったです。  
完成した竹笛にひもをつけ肩にぶらさげて、うれしそうに「ありがとうございます」と子ども達に言われた時は、よし来年ももっとみんなを楽しませたいと思います。



しょうすにできました

「おかあさんじゃうすにできましたよ、すこいでしょ。」  
それでも心配そうに、「でも、うまく回るかな。」  
「おうちに帰ってお父さんにも作り方教えてあげようね、きつとびっくりするね、お父さんよじょうすだと思つよ。」  
少年少女フェスティバルに参加された親子の会話です。かざるまの作り方を教えながら親子の会話を聞いていたうちに、こういう親子関係であれば子どもはのびのびと育つのだろかな、相手の気持ちを思いやる心が育まれるだろうな。お父さんはどのような方か会ってみたい気がします。

今年も昨年と同様、雨のためヤングコミュニケーションセンターが会場となりました。私達は、睦合南地区と睦合西地区と合同で、竹笛を作りました。二本の細い竹をカッターナイフや接着剤を使って作っていきます。  
当日、ちゃんと音が出る竹笛を作れるかどうかが一番心配でした。子ども達と一緒に作っている中で、竹笛からやさしい「ぼーっ」と音が出た瞬間、子ども達の顔が笑顔に変わるのがとてもうれしかったです。普段使った慣れない大型のカッターナイフを使用したにもかかわらず誰もがをしなかつたのも良かったです。  
完成した竹笛にひもをつけ肩にぶらさげて、うれしそうに「ありがとうございます」と子ども達に言われた時は、よし来年ももっとみんなを楽しませたいと思います。

今年も昨年と同様、雨のためヤングコミュニケーションセンターが会場となりました。私達は、睦合南地区と睦合西地区と合同で、竹笛を作りました。二本の細い竹をカッターナイフや接着剤を使って作っていきます。  
当日、ちゃんと音が出る竹笛を作れるかどうかが一番心配でした。子ども達と一緒に作っている中で、竹笛からやさしい「ぼーっ」と音が出た瞬間、子ども達の顔が笑顔に変わるのがとてもうれしかったです。普段使った慣れない大型のカッターナイフを使用したにもかかわらず誰もがをしなかつたのも良かったです。  
完成した竹笛にひもをつけ肩にぶらさげて、うれしそうに「ありがとうございます」と子ども達に言われた時は、よし来年ももっとみんなを楽しませたいと思います。

平成22年度連絡協議会理事名簿

地区	氏名	役職
厚木北	早川 宏一	体育部会長
厚木南	青沼 洋	
依知北	新井 新三郎	書記
	三橋 智和	
依知南	武田 信幸	
睦合北	古茶 一英	会計
	又村 三郎	
睦合南	福岡 典秋	文化部会長
睦合西	葉山 光三	
荻野	難波 秀世	広報部会長
	庄司 美喜子	
小島	堀田 哲郎	会長
	川田 房江	
玉川	三橋 正巳	書記
森の里	勝木 陽一	副会長
南毛利	中島 伸一	団体育成部会長
	鈴木 繁子	
相川	房野 健一	
緑ヶ丘	本間 弥士夫	会計
南毛利南	鎌田 百合子	副会長

### 野外指導者講習会 に参加して

■主体性を生かす指導を  
荻野地区 増山 光次郎

野外指導者講習会で私達は色々な指導法を体験しました。はじめにアイスブレイクお互いの緊張を解き、徐々に恥ずかしさも消え、最後には参加者の気持ちが一つになりました。普段は味わえない経験に、子どものように楽しんでしまいました。キャンプファイヤーでは、ゲームやスタンプの盛り上げ方の指導方法についての講義も受けました。



キャンプファイヤーの準備中

が進めていく立場に変わると思い責任を感じました。  
また、講師の表情、声の出し方や接し方はストリートに子ども達に伝わりやすいものでした。様々なことにチャレンジできるようにになりたいと思います。

■一年後には  
南毛利地区 佐藤 学  
青少年指導員となり、初めての少年少女フェスティバルを体験しました。  
まず驚いたことは、先輩青少年指導員とジュニアリーダーの行動力でした。  
私自身は、積極的に行動できないままフェスティバルは終了してしまいました。  
これから多くの活動がありそうですが、その一つ一つを積極的に行動し、スキルアップをしていきたいと思っています。

■新任指導員の思い  
相川地区 内海 則行  
相川地区の青少年指導員として、新たに四人が委嘱されました。最初は何をすればよいのかと、とまどうこともありましたが、様々な青少年育成活動に積極的に参加していくうち、徐々に理解できるようになってきた気がします。これからは、青少年及び青少年指導員を含めた人とのふれあい、コミュニケーションを大切にすることを基本的に活動していきたいと思っています。  
二年の任期の中で、無理をせず、自らも活動を楽しんで、何か新しい提案や実績を残せたらと考えています。ご指導の程、よろしく申し上げます。

### 新任指導員志気込込

■人との輪  
玉川地区 猿渡 智恵子

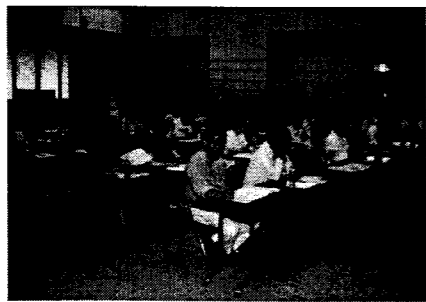
平成二十二年度三十九人の新任青少年指導員の中の一人です。まだまだ始まったばかりで、わからないことだらけですが、やるからには楽しく活動ができたと思っています。  
六月六日に開催された新任研修会では、ジュニアリーダーが子ども達とのゲームを大人バリエーションに変えて披露してくれました。私達にはちょっとした脳のトレーニングになり雰囲気も和やかにしてもらえました。  
私も子ども達に負けないように一緒に楽しく活動していきたいと思っています。

■学び、生かす  
依知南地区 河輪 公子

青少年指導員という肩書きがまだ耳慣れない状態のまま、少しでも経験を積みたいたいと思い参加しました。アイスブレイクを実際に体験し、自分の気持ちと身体がほぐれていくのを実感しました。今まで、指導してもアダーの進め方が、今後は自分

「おかあさんじゃうすにできましたよ、すこいでしょ。」  
それでも心配そうに、「でも、うまく回るかな。」  
「おうちに帰ってお父さんにも作り方教えてあげようね、きつとびっくりするね、お父さんよじょうすだと思つよ。」  
少年少女フェスティバルに参加された親子の会話です。かざるまの作り方を教えながら親子の会話を聞いていたうちに、こういう親子関係であれば子どもはのびのびと育つのだろかな、相手の気持ちを思いやる心が育まれるだろうな。お父さんはどのような方か会ってみたい気がします。

今年も昨年と同様、雨のためヤングコミュニケーションセンターが会場となりました。私達は、睦合南地区と睦合西地区と合同で、竹笛を作りました。二本の細い竹をカッターナイフや接着剤を使って作っていきます。  
当日、ちゃんと音が出る竹笛を作れるかどうかが一番心配でした。子ども達と一緒に作っている中で、竹笛からやさしい「ぼーっ」と音が出た瞬間、子ども達の顔が笑顔に変わるのがとてもうれしかったです。普段使った慣れない大型のカッターナイフを使用したにもかかわらず誰もがをしなかつたのも良かったです。  
完成した竹笛にひもをつけ肩にぶらさげて、うれしそうに「ありがとうございます」と子ども達に言われた時は、よし来年ももっとみんなを楽しませたいと思います。



青少年指導員新任研修会の様子

■青少年指導員になって  
森の里地区 徳田 勝彦  
青少年指導員を委嘱されてから約二ヶ月の間に、少年少女フェスティバルを始めとして、子ども達とふれあう活動に参加を

■新任指導員の思い  
相川地区 内海 則行  
相川地区の青少年指導員として、新たに四人が委嘱されました。最初は何をすればよいのかと、とまどうこともありましたが、様々な青少年育成活動に積極的に参加していくうち、徐々に理解できるようになってきた気がします。これからは、青少年及び青少年指導員を含めた人とのふれあい、コミュニケーションを大切にすることを基本的に活動していきたいと思っています。  
二年の任期の中で、無理をせず、自らも活動を楽しんで、何か新しい提案や実績を残せたらと考えています。ご指導の程、よろしく申し上げます。